

ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>



尼崎市立北図書館
 尼崎市南武庫之荘3-21-21
 TEL (06) 6438-7322
 FAX (06) 6438-7344

《新・尼崎の本棚 89》

お菊虫

元禄の頃、ある家老のお屋敷にお菊という侍女が奉公に上がっていました。お菊は美しく気立てが良かったので家老が思いを寄せましたが、相手にされませんでした。嫉妬深かった家老の妻は、お菊を陥れるため家老の飯の中に針を入れました。給仕をしていたお菊は、激怒した家老に井戸へ投げ込まれ殺されてしまいます。それを知ったお菊の母も後を追って井戸に身投げしました。その後、家老の家は怪異や不幸が続き没落しました。その百年後の寛政7(1795)年、お菊が殺された井戸から女の人が縛られたような姿のさなぎが庭の葉におびただしく発生しました。人々はお菊の祟りと恐れしました。また、お菊の遺恨のためか寺に菊の花が咲くことがなかったという事です。

じょうしょういん

上記は尼崎市大物にある深正院にまつわる伝承です。深正院の門は家老屋敷のものだと伝えられており、境内には石板で蓋がしてある井戸跡があります。お菊虫とはジャコウアゲハのさなぎのことで、1795年に「お菊虫」発生に関する記事が「播州名所図絵」巻之四に載っていることから、恐らくこの年にジャコウアゲハが大量発生したのだと推察できます。お菊・井戸というと播州皿屋敷などが有名ですが様々に形を変えて全国へ伝わっており、尼崎のものも皿屋敷の異聞と考えられます。

(参考:『怪談皿屋敷のナゾ』姫路文学館/編集発行 ・『みちるべ第33号』尼崎郷土史研究会/編集発行)

◆ 怪談について

怪異の話は古く日本書紀の中に登場し、人々は不確かなモノや不安から想像を掻き立てられ多くの妖を生み出してきました。演劇としての怪談が確固としたジャンルを築くのは江戸時代のことで、皿屋敷伝説の舞台化は享保5年(1720)秋の大坂金子吉右衛門座「皿屋敷」などに遡ることができます。「四ツ谷怪談」のお岩、「番町皿屋敷」のお菊は浄瑠璃や芝居の影響で全国的に広まり、各地でさらなる伝説を生み出したところを見ると、怪談の花形的存在だったといえるでしょう。怪談といえば夏に行われるイメージですが、これは怪談が歌舞伎の夏の演目だったためと言われていています。海外では冬の風物詩だったり、特に季節を定めない国も多くあります。日本の怪談にはよく井戸が出てきますが、アメリカの怖い話には出てこないようです。一方でピエロが恐怖の対象だそうで(『子供に語ってみたい日本の古典怪談』p240より)、国によってとらえ方や恐怖の形は様々であることが見てとれます。

(参考:『怪談学の基礎知識』小松和彦/著 角川学芸出版)

● 「怪談」についてならこんな本●

- 『子供に語ってみたい日本の古典怪談』野火迅/著 草思社 211670166
- 『兵庫の怖い話』宇津呂鹿太郎/著 TOブックス 212166417
- 『教室で語り聞かせるこわ〜い話』山口理/著 いかだ社 211677565

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6	7	8	9	10
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	⑳	㉓	24
㉕	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	⑨	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
㉒	㉓	24	25	26	27	28
㉙	30	31				



7月:文月(ふみづき)

食べ物:カボチャ、トウモロコシ、ナス、スイカ、モモ、ウナギ、タチウオ
 植物:ハイビスカス、ヒマワリ、アサガオ、ラベンダー、グラジオラス
 季語:大暑、炎天、夕風、西瓜割り、線香花火、空蝉、青葡萄

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)



7月・8月は最終木曜日も開館します

今年もやります！ 読書ジョギング

100冊読めたら賞状とプレゼントがもらえるよ！
100冊目指してがんばりましょう！

北図書館1階カウンターでシートを受け取ってください。

【期間】7月21日（水）～8月29日（日）

【対象】小学生



図書館調べ隊

図書館の本を使った調べ方、まとめ方が学べます。
自分の興味のあるテーマについて調べた作品を作って、
「図書館を使った調べる学習コンクール」に応募しよう！

【日時】7月24日（土）・25日（日）

午前10時～正午

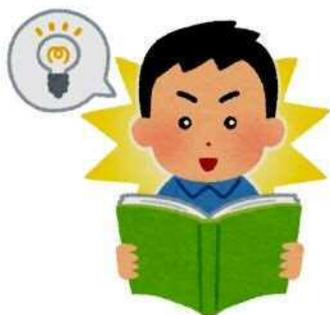
【対象】小学生

【定員】先着10名

【申込】7月7日（水）から

北図書館カウンター、または電話で受付

※両日参加できる方限定



怖いおはなし大会

部屋を暗くし、ろうそくを灯して
怖いおはなしのストーリーテリングを
します。

8月7日（土）

午後2時～3時

北図書館 3階集会室

先着50名（申込不要）

大人の方のみでも参加いただけます。



＜7月展示のご案内＞

一般大展示 大人だって自由研究

2階展示 落第忍者乱太郎と尼崎

- ・ 急遽イベントを中止、または延期する場合があります。
- ・ ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願い致します。

大人のための朗読会

【日時】 7月21日(水) 午後2時から1時間ほど
【場所】 3階 集会室
【内容】 『鱸(すずき)とおこぜ』 阿川 弘之/著
『かっぱの目だま』 さねとう あきら/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む (****) 室井 滋

1958年～富山県生まれ。女優。早稲田大学在学中から多くの映画に出演。日本アカデミー賞・最優秀助演女優賞など映画賞多数受賞。2012年喜劇人大賞特別賞受賞。著書に『すっぴん魂』『チチンパイパイ』他、多数。

『マーキングブルース』

室井 滋[著]/メディアファクトリー

タクシーに乗って行き先を告げると、年配のドライバーさんは新人で、なぜか友達に電話で道を聞く。無事に着くのかハラハラしつつも、最後は猫談議に花を咲かし……。第一夜から第七夜まで、猫と女を描いた7つの話「猫物語」と、テーマを共有する7つのエッセイ「猫随想」を収めた一冊。

『ドレスよりハウス』

室井 滋[著]/マガジンハウス

“家を建てて一人前”という土地柄の富山県人である著者は、何が何でもマイホームが欲しいと思いつち……。土地探し、ローン、建築家など、数々の試練に立ち向かい、女優・室井滋が“憧れのマイハウス”を完成させるまでを綴る。防犯・収納・メンテナンスなど、家に関するお役立ちコラムも収録。

『おぼさんの金棒』

室井 滋[著]/毎日新聞出版

著者いわく、「おぼさん」に“金棒”というところを、あえて「おぼさん」の“ ”というタイトルにした本書。「つれづれに」「役者の世間話」「体ビキビキ、レッツゴー！」ほか室井節が炸裂する12の楽しいエッセイ。『毎日新聞』『夕刊フジ』の連載から抜粋し、加筆して再構成。

『すきま地蔵』

室井 滋[著]・長谷川 義史[画]
/白泉社

「すきま地蔵のおつかいくん、参上〜!!」学校からの帰り道、ビルの谷間に挟まれて出られなくなったお地蔵さんに呼び止められたボク。お地蔵さん一家に代わり、おつかいを頼まれて……。困っている人へ届けものをするために、ボクは東西南北の町へと走ります。

【小学1～2年生】

早稲田大学在学中、シネマ研究会に所属し、映画『風の歌を聴け』でデビュー。出演映画で数多くの映画賞を受賞し、劇場アニメやドラマ・舞台・ラジオなどでも活躍している。2011年『しげちゃん』で絵本原作デビュー。同年「しげちゃん一座」を結成、長谷川義史らと日本各地で絵本の読み聞かせやライブを開催している。

児 童 室 7 月



おはなし会



土曜日

おひざのうえのおはなし 午後2:00~
 小さい人(ようちえん) 午後2:15~

場所: 3階集会室

7/3(土)

● おひざのうえ
 「ぼうしかぶって」
 「かにこちゃん」

● 小さい人
 「そらいろのたね」
 「ねことねずみ」

7/17(土)

● おひざのうえ
 「にっこりにここにこ」
 「ぴんぼーん」

● 小さい人
 「トマトさん」
 「ふしぎなたいこ」

状況に応じて
 中止になる
 可能性があります。



水曜日

あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所: 1階絵本コーナー

7/7(水)、7/21(水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと
 保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊び



日曜日

(第2・第4日曜日)

場所: 1階ロビー

7/11(日)、7/25(日)

午前11:00~11:20

2歳くらいから

季節の絵本や紙芝居など

7

今月の展示

『夏』

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7 	8	9	10
11 	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 	22	23	24
25 	26	27	28	29	30	31